

ワークショップWS-3 他の分野の資格認定と比較・検討

宇都宮精治郎

国家公務員共済組合連合会 新別府病院 臨床工学室

【目的】高気圧酸素治療分野では、2つの学会が臨床工学技士、看護師等を対象として技師認定を実施している。一方、医療従事者が取得可能な学術団体の資格は、この分野以外にも存在している。これらの認定資格を比較検討する。

【方法】各学会ホームページ、学会誌等より情報を収集した。臨床工学技士のみを対象とした専門臨床工学技士、看護師のみを対象とした専門看護師、認定看護師は除外した。調査項目は、①受験資格(経験/講習等)、②更新条件、③資格保有者数である。

【結果】今回検討した資格(認定する団体)は、以下の9つである。(臨床工学技士:CE, 看護師:NS, 准看護師:准看, 理学療法士:PT)

1. 透析技術認定士(透析療法合同専門委員会), ①CE・NS2年以上, 准看(3~4年以上)/講習4日, ②更新なし(平成24年4月から更新制度開始), ③未発表(2007年まで8,770名)

2. 日本アフェリシス学会認定技士(日本アフェリシス学会), ①CE・NS・准看/5年以上学会員, 講習等単位制, ②受験資格と同じ, ③187名

3. 体外循環技術認定士(4学会合同試験委員会), ①CE・NS3年以上, 准看(4~5年以上), 認定施設/2学会の正会員, 指定セミナー等(単位制), 30症例以上の操作経験(記録必要), ②5年間, 2学会の指定セミナー各1回以上, 30症例以上の操作経験(記録必要), ③682名

4. 人工心臓管理技術認定士(4学会1研究会合同試験委員会), ①CE・NS3年以上, 認定施設/学会員, 指定セミナー, 指定のセッション(5年間5回以上), 5例以上の症例経験(記録必要), ②未定, ③42名

5. 3学会合同呼吸療法認定士(3学会合同呼吸療法認定士認定委員会), ①CE・NS・PT2年以上, 准看3年以上/指定の講習会等(5年間, 点数制), ②5年間で50点以上(指定の講習を点数化), ③24,183名

6. 臨床ME専門認定士(臨床ME専門認定士合同認定委員会), ①試験なし(認定制度), 第1種ME技術実力検定試験の合格者, CE・NS・臨床検査技師・診療放射線技師2年以上, 准看3年以上, ②5年間で60点以上(指定の講習等を点数化), ③未発表(2008年までに, 第1種ME技術実力検定試験1,222人が合格)

7. 第一種・第二種消化器内視鏡技師(日本消化器内視鏡学会), ①第一種:CE・NS(助産師, 保健師)・臨床検査技師, 診療放射線技師, 薬剤師, 衛生検査技師2年以上, 第二種:准看3年以上, 学会専門医指導のもと/指定の学会等(5年間2回以上), 指定の講習会, ②5年ごと, 研究会・学会2回, 指定の講習会等1回, ③16,631名

8. 臨床高気圧酸素治療技師(日本高気圧環境・潜水医学会), ①CE・NS3年以上, 准看(4~5年以上), 常勤者/2年以上学会員, 教育集会2回以上, ②認定証交付日から6年後の3/31までの間に, 24単位以上, ③279名

9. 臨床高気圧酸素治療装置操作技師(日本臨床高気圧酸素・潜水医学会), ①CE・NS2年以上(HBOの臨床経験を有しないときは3年以上の臨床経験), 常勤者/講習会, ②5年ごと, 更新申請書類提出, ③160名

試験については, 6. は認定条件のみで, 試験はない。他は筆記試験のみで, 3., 4., 7. は口頭試験が加わる。

【考察】高気圧酸素治療の従事者は, 他の業務を兼務していることが多く, 学術団体の認定資格を複数保有している場合がある。いずれも専門性の高い資格であるが, 同じ分野で2つの学会がそれぞれ資格認定を行っているのは高気圧酸素治療分野のみである。このために, 医療従事者はどちらを取得すべきか困惑することがある。資格認定を行っている学術団体は, 単独の医学会, あるいは複数の関連学会から組織された委員会である。以上を考慮すると, 両学会からなる合同の資格認定委員会を組織し, 統一された資格にすることが望まれる。